

## 令和6年度11月定例教育委員会議事録

### 【日時】

令和6年11月20日（水）

開会 午後1時45分

閉会 午後4時00分

### 【会場】

辰野町民会館 202 会議室

### 【出席者】

8名

（辰野町教育委員会）

教育長	宮澤 和徳
教育長代理	飯澤 隆
教育委員	垣内 由佳
教育委員	関 政彦
教育委員	萩原 多恵子

（事務局関係）

学びの支援課長	福島 永
学校支援課長	小澤 靖一
学校支援課長補佐	宮原 隆史

### 【傍聴者】

0名

## 【次第】

### 1 議事

- (1) 【非公開】 就学指定校変更について
- (2) 【非公開】 就学の判断について

### 2 協議

- (1) 【非公開】 学校の様子・運営上の諸課題
- (2) 【非公開】 不登校児童生徒について
- (3) 県教委による「新しい学びの当たり前 (TOCO・TON) について
- (4) 上伊那社会教育関係者懇談会【11月22日(金)】について
- (5) 町教育委員会研修視察について
- (6) 教育委員会・社会教育委員との懇談会【12月20日(金)15:30~】
- (7) その他

### 3 報告事項

- (1) 市町村教育委員会連絡協議会報告
- (2) その他

## ○開会

### 1 開会宣言

### 2 会期の決定

- ・会期については1日とする。全員異議なし。

### 3 議事録の承認

- ・承認。

### 4 宮澤教育長挨拶

こんにちは。先ほどは一ノ瀬健二先生への高齢者叙勲の伝達式にご出席いただき、ありがとうございました。一ノ瀬先生は教職退職後、辰野町教育長、川島区長、川島小学校閉校記念式典実行委員長など要職に就かれ、大変なご苦勞を頂きました。先月行われた川島小学校閉校記念式典では、学校を閉じるという寂しさはありますが、子ども達が明日に向かって一歩前に踏み出そうとしていて、地域みなさんに笑顔が見られたのは一ノ瀬先生のお陰だと思っています。88歳ですが、まだまだ辰野町に必要な方ですので身体に気をつけて頑張っていたきたいです。

11月も20日を迎えますと、寒さが加わってきて初冬の装いです。日もますます短くなってまいりました。しかし、町内小学校では先週から今週、校内マラソンが行われ、一人ひとり自分の目標を掲げ、なかには休日も友だちと一緒に練習に励む姿が見られました。このような姿を見ますと、理屈抜きで子ども達を応援したくなります。さて、10月31日に文科省は「児童生徒の問題行動や不登校などの実態を調査した「令和5年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果の概要」を公表しました。

それによりますと、小・中学校における不登校児童生徒数は346,482人であり、前年度から47,434人増えていて、5年連続で増加しています。増加の背景としてはさまざまありますが、友人関係や先生との関係の他に、保護者の学校に対する意識の変化、コロナ禍の影響による登校意欲の低下、特別な配慮を必要とする児童生徒に対する必要な支援に課題があったことなどがあげられています。このあたりを委員のみなさまにご意見をいただければと思います。

さて、10月25日の「長野県市町村教育委員会研修総会及び北部教育委員会研修」は大変ありがとうございました。

それでは、今日の定例教育委員会では議事が2つ、協議につきましては通常の協議が中心になります。よろしくをお願いします。

## 5 議事

- (1) 【非公開】 就学指定校変更について
  - ・ 宮原学校支援課長補佐より説明。承認
- (2) 【非公開】 就学の判断について
  - ・ 宮原学校支援課長補佐より説明。承認。

## 6 協議

- (1) 【非公開】 学校の様子・運営上の諸課題について
  - ・ 宮澤教育長より説明。
  - ・ 資料として『学校の様子及び運営上の諸課題』を提示。
- (2) 【非公開】 不登校児童生徒について
  - ・ 宮澤教育長より説明。
  - ・ 資料として『不登校児童生徒数の推移の資料』を提示。
- (3) 県教委による「新しい学びの当たり前 (TOCO-TON)」について
  - ・ 宮澤教育長より説明。
  - ・ 資料として『「ウェルビーイング実践 TOCO-TON」に対する考え』を提示。
  - ・ 「昭和」の学校の当たり前を「令和」の学校の当たり前に変えていく。子ども達の声を反映させて学びたい意欲を前面に出す為に、子どもの意見を取り入れていくことが取り組みの基本となる。来年度、実践校を全県で10校程度定めて、専属職員を配置する。
  - ・ 辰野町教育委員会では、①子ども達と先生のやりたいことや学びたいことができる学校作り、②小学校高学年教科担任制の拡大、③不登校児童生徒の学びの場の充実を図る、④課外活動は児童生徒の意思が反映されるようにする、⑤課外活動を積極的に推進する、これらを取り組みの柱として行っていく。

### < A委員 >

授業日数を減らしていく中で楽しみにしていた行事がなくなり、残念な気持ちを抱く子どもがいます。先生達の働き方を改革することばかりに目を向けるのではなく、子ども達の気持ちにも寄り添ってほしいです。また、教え込む授業ではなく、子ども達が主体になって学習できる授業づくりを考えていくことが大切だと思います。そのためには、積極的に研修会に参加して勉強をする必要性を感じます。

不登校の問題に関してですが、長野県は夏休みが長いように感じます。昔のように中間休みがあり、飛び飛びの休みがあることによって短期目標を設けることができ、学校に苦手意識をもっている子ども達の励みになるのではないのでしょうか。

#### < B 委員 >

登校日数が増えることについて賛成する保護者が多く、夏休みが短くなると学童への送り迎えやお弁当作りなど保護者の負担が軽減されてくるかと思えます。また、長期休みに学童を利用しないで家庭で過ごす子ども達にとっては、学校でのびのび過ごしてほしい思いがあります。

#### < C 委員 >

子ども達の学びの方向性として賛成です。先日、辰野町内の小学校の研究授業に出席した際、授業を抜けて参観に来ている先生が15分程度しか参観できない現状を目の当たりにしました。子ども達を教室に残して1時間授業を参観するのが困難ということを知り、子ども達だけでも学習に取り組む意識づくりを大事にするべきではないかと思えます。

#### < D 委員 >

先生の働き方改革を進めている中で、実現可能な取り組みなののでしょうか。

#### < 宮澤教育長 >

新たな取り組みを支援する人材として、実践する自治体の教育委員会に指導主事を配置する方向で考えられています。また、学習指導要領から逸脱しない範囲で、各学校独自の教育活動を行っていきます。

#### (4) 上伊那社会教育関係者懇談会について

- ・宮原学校支援課長補佐より、当日の集合時間について確認。

#### (5) 町教育委員会研修視察について

- ・宮澤教育長より説明。  
1月または2月に静岡県川根本町の義務教育学校の視察を検討している。  
今後、日程の調整を進めていく。

#### (6) 教育委員会・社会教育委員との懇談会について

- ・宮澤教育長より説明。

資料として『町教育委員会と社会教育委員との懇談会』を提示。

(7) その他

< E 委員 >

高校生の保護者からの相談で、学校帰りに学習できる場所が辰野町内にないという話がありました。辰野町立図書館は18時まで利用できるが、それ以降の時間も利用を希望する声があります。近隣の伊那市、岡谷市、箕輪町には夜間利用できる学習スペースがあるため、辰野町民会館の一室など町内にも夜間に学習できる場所を作っていただきたいです。

7 報告事項

(1) 市長村教育委員会連絡協議会報告

- ・前回の教育委員会で説明済み

8 閉会